

クラシス 株式会社

- ▶ 対象類型 情報処理・製造環境
- ▶ 事業類型 一般型
- ▶ 主たる目的 技術革新・生産性向上

多品種少量生産に対応する プレカット木材加工ラインの複線化事業



- | | |
|---|---|
| 2 | 1 |
| 3 | |
| 4 | |
- 1/新設した横架材加工機MPS-15により、加工技術の幅が広がった。女性オペレーターも活躍中。 2/右が従来のAライン、左が新導入されたBライン。ポイントを切り替えて最適なラインを選択する。 3/CADセンターで作成した図面データを送信し、コンピュータ制御により木材加工を実施。1棟ごとにオーダーメイドで生産。 4/加工機増設により技術精度が向上。さらに高度な特殊加工は常駐の大工職人が仕上げる。

こんな会社です！



代表取締役社長
田中 陽介さん

私たちは木材加工・ 建材選びのプロ集団です。

クラシスは社名の通り「暮らし」に関係する商品を住宅会社に提供している福井の会社です。建材、木材およびプレカット加工など、家づくりの基本となる商品を幅広く取り扱っています。快適な住まいは、住む人に心の潤いをもたらします。クラシスは住宅に欠かせない商品を通じて、より素敵で快適な住まいを社会に、信頼と実績をもって貢献していきたいと思っています。

生産ラインを単線から複線にして生産性向上。職場環境も改善。

プレカット木材の製造・販売を行う同社。月の生産量は3000坪で、地域の中小工務店が主な顧客となっている。工場の生産体制は▷中間(側面)加工機▷スリット加工▷木口加工▷検査・梱包出荷の一貫ライン。近年、工務店が自社加工をやめプレカットに切り替えたことや、体育館など大型公共施設に木材が多く使用されるようになったことで、同社にも多品種少量の生産体制が求められていた。しかし現状のラインでは、スリット加工と木口加工のどちらかに作業の偏りが生じ、片方のラインが“待ち”の状態となって全体の作業時間が長引いていた。そこで、鉄道を単線から複線に変更するよ

うに生産ラインを構築、生産の効率化を図ることとした。

導入した宮川プレカットラインMPS-VX03は、ポイントの切り替えにより生産ラインを複線化し、複数の製品の同時加工が可能になる。製品に合わせてラインを切り替えられるため、多品種であっても工程が最適化され、作業時間が短縮。全体として大きな稼働率アップにつながった。機械の導入により、社内では基本的に1勤務体制が可能になり、これまで懸案事項であった2交代勤務の安全管理問題も解消。労働環境も飛躍的に向上した。

注目すべき 成果

▶ 加工ラインの複線化で多品種少量生産30%アップ。

大手メーカーと差別化を図るには、多品種少量生産の生産性向上が不可欠であった。プレカット木材加工ラインの複線化(加工ラインの新規設置)の実施により生産性向上30%の目標をクリアし、年間売上は35億円に達した。

注目すべき 成果

▶ 夜勤縮小により、さらなる魅力的な職場環境に。

夜勤や残業の縮小により勤務上の負担が軽減され、重量物を生産する工場として安全・安心の職場環境が実現した。育児・介護休業制度の充実や所定労働外時間の削減、地域貢献にくわえ、職場環境の魅力がさらに向上した。

事業活動の 付加価値

▶ 多品種少量生産で、建築業界の課題を解決。

木造建築の需要が増加する一方で大工職人が減少しており業界の課題となっているが、多品種少量生産の向上により、工場生産にて課題への対応が可能となった。また、中小工務店への技術的サポートも行なっている。

ものづくり専門員から一言

ニーズにあった 設備投資で、売上増と 職場環境改善を叶える。

市場動向の分析から多品種少量の生産性の重要性に着目することで適切な設備投資が実現し、生産性を飛躍的に高め、売上が増加した。さらに職場環境の改善にも繋げることができ、企業価値も高まったため、今後、スムーズな人材確保やさらなる地域貢献が期待できる。



プレカット加工木材



本社・工場

クラシス 株式会社

代表者/代表取締役 田中 陽介
設立/1964年(昭和39年)5月
資本金/7,500万円
従業員数/80名
事業内容/木材加工・建材卸
売上高/35億円

本社:〒916-0038 鯖江市下河端町1701
☎0778-54-8400 FAX.0778-54-8412
[URL] <https://www.crasis.co.jp/>